

障害者スポーツ指導論

[講義・演習] 第4学年 後期 選択 1単位

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》 小島悟 児玉壮志 大須田祐亮 岡崎勇二

【概要】

本授業科目では、障がい者スポーツの意義や理念、歴史と変遷、障がい者スポーツに関連する諸施策について学習する。また、様々な障がい者スポーツの実践について事例を交えて紹介しながら、安全なスポーツ実践指導のための知識と援助技術を概説する。

【学習目標】

理学療法士として障がい者にスポーツの楽しさを伝えられるとともに、スポーツ活動への援助ができるようになるために、障がい者スポーツに関する基礎知識と技術を身につける。

1. 障がい者スポーツの意義について説明する。
2. 障がい者スポーツの歴史と変遷を理解する。
3. 障がい者スポーツに関連する諸施策について説明する。
4. 障がいに応じて安全にスポーツの実践指導をするうえでの視点を説明する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	総論	ガイダンス、障がい者スポーツの理念、歴史と変遷、障がい者スポーツに関連する諸施策	小島悟
2	総論	障がい、クラス分け	小島悟
3 }	身体障がいとスポーツ	身体障がい者にとってのスポーツの意義、指導における視点	岡崎勇二
4			
5 }	発達障がいとスポーツ	発達障がい者にとってのスポーツの意義、指導における視点	大須田祐亮
6			
7 }	精神障がいとスポーツ	精神障がい者にとってのスポーツの意義、指導における視点	児玉壮志
8			
9 }	障がい者スポーツの実践	各種スポーツの体験	岡崎勇二
14			
15	まとめ (課題提出)	理学療法士としての障がい者スポーツへの関わりについてレポートにまとめて提出する。	小島悟

【評価方法】

レポート 100%

提出されたレポートのフィードバックはmanabaを通じて担当教員より行う。

【備考】

教科書 : 特に指定しない。適宜資料を配布する。

その他 : 本科目は選択科目であるが、履修登録後は最後まで受講することを望みます。

【学習の準備】

事前に学習課題に関連する図書等を読んでおくこと(80分)。

復習は、授業時に配布された資料と講義メモをもとに学習を深めること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

(DP4) リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

小島悟（理学療法士）、児玉壮志（作業療法士）、大須田祐亮（理学療法士）、岡崎勇二（日本障がい者スポーツ協会公認上級障がい者スポーツ指導員、公認障害者スポーツコーチ（バドミントン））

【実務経験を活かした教育内容】

それぞれの実務経験をもとに、障害者スポーツの実際や各専門職種の開わり方などについて講義する。